

のものに非ずして Podozamites の Cycadocarpidium の如く二種子を保有するものと考へたく、之こそ WIELAND 氏の所謂 Hemi-Conifer なるべしと云ふ、それで地球上最古の双子葉植物は又侏羅紀へとひきあがれり。

WIELAND 氏は又 Fraxinopsis と共に産する一の Taeniopteroid leaves 亦双子葉植物のものなるべしと云へり。大石氏は此植物の所屬は不明なれども双子葉植物には非るべく Stangeria や Taenitis に類せる裸子植物か羊齒類似の植物なるべしと云ひ、南米アルゼンチン、亞弗利加、印度等の三疊紀最上部（レーチツク）より侏羅下部（リアス）に亙り生存せるものにて Rhaetic Post-Gondwana Flora の要素として著甚なるものとし東北大學矢部教授の記念として Yabeiella 屬を設立し、次の諸種を包括せしめたり。

- Yabeiella mareyesica (Geinitz) Oishi. アルゼンチン
 Y. brackebuschiana (Kurtz) Oishi. 南亞弗利加
 Y. Wielandii Oishi. アルゼンチン
 Y. spathulata Oishi. アルゼンチン
 Y. ? dutoiti Oishi. 南亞弗利加
 Y. ? crassinervis (Feist) Oishi. 南亞弗利加、印度、濠洲(?)、新西蘭土(?)

(小泉源一)

フルテン氏：ミヅバセウ屬 E. HULTÉN & H. S. JOHN: The American Species of Lysichitum, in Sv. Bot. Tidsk. xxv. (1931). p. 453.

ミヅバセウ屬 (Lysichitum) には從來唯ミヅバセウ [Lysichitum camtschatense (L.) SCHOTT] の一種のみ知られしが、ベーリング海の兩側に各一種づゝ分布すること明になれり、西側のものは即ちミヅバセウ (L. camtschatense SCHOTT.=L. japonicum SCHOTT.=L. album MAKINO) にして、佛燄は白色、花に香氣なく、肉穂花序は他の一種より一般に小形、花被片も亦小形にして2—3ミリあり、花被片の上部はより多肉、雄蕊は抽出し葯は頗る小なり。西南カムサツカ、千島、北海道、本島、樺太及び黒龍江河口の Primorsk 地方に分布す。

他のベーリング海東側の新種はキバナミヅバセウ (L. americanum HULTÉN & JOHN) にして、佛燄は薄黃色を呈し、花は Skunk の臭氣を有し、肉穂花序も大形、花被片は3—4ミリあり、其上部は膜質なり、葯はミヅバセウのより大形にして彼の如く著しく抽出せず。Alaska 南岸地方、Sitka 島、British Columbia, Washington, Oregon, California 諸州の海岸及び西部 Montana 州の地方に分布す。

本屬は小泉の洪積世沼野要素と稱するものゝ一にしてベーリング要素の一なり。

(小泉源一)